

2022年12月15日

各 位

インフラファンド発行者名

カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人

代表者名 執行役員

柳澤 宏

(コード番号 9284)

管理会社名

カナディアン・ソーラー・アセットマネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長

柳澤 宏

問合せ先 財務企画部長

吉田 圭一

TEL: 03-6279-0311

出力制御による本投資法人の運用資産への影響に関するお知らせ

2022年11月の一般送配電事業者による出力制御（以下、「当月内出力制御」といいます。）のカナディアン・ソーラー・インフラ投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の保有資産への影響について、下記のとおりお知らせします。

記

1. 本投資法人の当月内出力制御の状況

一般送配電事業者による出力制御の指示に基づき、各発電所（以下、「当該発電所」といいます。）において2022年11月中に以下のとおり出力制御が実施されました。当該発電所における実施日については2022年11月7日付、および2022年11月14日付の「本投資法人の運用資産への出力制御の実施に関するお知らせ」をご参照ください。

発電所	パネル出力 (MW)	電力管内	出力制御 実施回数
S-01_CS 志布志市発電所	1.22	九州	1回
S-02_CS 伊佐市発電所	0.93	九州	1回
S-04_CS 伊佐市第二発電所	2.01	九州	1回
S-05_CS 湧水町発電所	1.74	九州	1回
S-06_CS 伊佐市第三発電所	2.23	九州	1回
S-08_CS 日出町発電所	2.57	九州	1回
S-09_CS 芦北町発電所	2.34	九州	1回
S-10E_CS 南島原市発電所(東)	2.23	九州	1回
S-10W_CS 南島原市発電所(西)	1.69	九州	1回
S-13_CS 益城町発電所	47.69	九州	1回
S-24_CS 日出町第二発電所	53.40	九州	1回

2. 当月内出力制御による本投資法人の運用状況への影響

当月内出力制御による本投資法人の収益への影響は以下のとおりです。なお、2022年12月7日付「太陽光発電所月次発電電力量実績に関するお知らせ」での開示のとおり、2022年11月の発電電力量実績は当月の予想発電電力量対比で106.12%であり、各数値は当月内の出力制御（確認可能な代理制御については除く）による影響も織り込まれています。

2022年11月の本出力制御による実質逸失変動賃料収入（注1）	4,388千円
今期の2022年11月までの出力制御による累計逸失変動賃料収入 （今期の投資法人のポートフォリオ全体の予想賃料収入に対する比率）	19,693千円 (0.53%)
今期の業績予想における出力制御による予想逸失変動賃料収入 （今期の投資法人のポートフォリオ全体の予想賃料収入に対する比率）	3,893千円 (0.10%)
（ご参考）今期の投資法人のポートフォリオ全体の予想発電量（P50 （注2）ベース、以下同じ。出力制御による予想発電量への影響を考慮 前）に対する当該発電所の実質逸失発電量の比率 （今期2022年11月までの累計実質逸失発電量の比率）	0.12% (0.52%)

（注1）本投資法人が受け取る固定賃料は、月ごとにP50ベースでの想定発電量をもとに計算しています。本逸失変動賃料は、当該出力制御以外の日の発電量をP50で発電したと想定した際の逸失分となります。

（注2）超過確率P（パーセンタイル）50の数値（50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。）としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量をいいます。本投資法人の保有資産の賃料は、基本賃料と実際の発電量がP50ベースで想定される想定発電量の70%を上回った場合に発生する実績連動賃料の組み合わせとなっています。

3. 出力制御による本投資法人の運用資産への影響の開示について

本投資法人の保有発電所が出力制御の実施対象となった旨については、出力制御が月曜日から翌週日曜日の間に実施された場合には、翌週月曜日（休日の場合は翌営業日）に開示します。実質逸失変動賃料収入の金額及び実質逸失発電量の比率等については、より正確な情報を提供する目的から、本投資法人がO&M業務を委託するカナディアン・ソーラーO&Mジャパン株式会社により、対応発電所における本出力制御実施日の指示があった時間帯と当該時間帯の実質逸失発電量の正確な数値の集計を行い、1ヵ月分を合算して翌月中旬に開示します。

以 上

本投資法人のホームページアドレス：<https://www.canadiansolarinfra.com>